

市長	副市長	部長	課長	補佐	係長	関係者

会議記録兼報告書

議 題	第 65 回伊那まつり 第 4 回事務局会議
日 時	令和 4 年 11 月 14 日 (月) 午後 6 時から午後 7 時 45 分まで
場 所	伊那市役所 302 会議室
出席者	<p>実行委員長 中山昭、事務局長 工藤陽介、事務局次長 宮澤伸英 市民おどり委員会 山岸洋子 おまつり広場委員会 網野俊輔、小池忍、安藤泰行 花火委員会 伊那商工会議所 北原光 市事務局 商工振興課 林裕二・村田和也、生活環境課 藤井聡生・山口雄樹 危機管理課 宮下誠 観光課 唐木玲・中谷剛・小牧さとみ <欠席>おまつり広場委員会 (スタジオR 浦野創一郎・ブーケ 宮坂和世) 遊 ing ビレッジ委員会 (城取和広・伊那食品工業㈱ 白鳥翔)</p>
打 合 せ 内 容	
1 開会	
2 挨拶 (中山実行委員長)	
3 協議事項	
(1) 前回会議のふりかえりについて (議事録により、会議内容の振り返りを行った。)	
(2) 第 66 回伊那まつりの開催について (事務局から資料説明)	
・ 20221114_伊那まつり_事務局会議レジュメ	
・ 第 3 回会議録	
・ 市民おどりへの市職員の動員について (長野及び松本商工会議所へのヒアリングメモ)	
・ 伊那まつり組織図	
・ 第 62 回伊那まつりパンフレット (抜粋)	
○事務局次長について	
・ 商工会議所事務局から推薦はない中で、実務を進めていく必要がある。青年部から安藤泰行さんを推薦したい。→了承	
○事務局の説明を聞いて	
・ 2 日開催をお願いしたい。	
・ 2 日開催を否定しているわけではない。2 日目を行うようであれば、どこかの団体に主導していただきたい。	

- ・市民にとってはどこが主催でも関係ない。商工会議所親会で2日目を主導してはどうか。
- ・3年間で会議所も要望している花火を考えていけばと個人的には考えている。
- ・市が全部やっていると持続可能な伊那まつりにはならない。まず1日目の日程を組んで、余力があるようであれば2日目をやってみてはどうか。
- ・市の負担を減らすためには、他の団体が受け持つ必要がある。どこが主体的にやるか。
- ・まず1日目をどうやるか考えて進めていく。この会議でどのようなことが話し合われているか広めていきたい。
- ・絵による記録もオープンにしていく。
- ・市民への見える可が大事。これまでのまつりの歴史も市民に共有できれば。思いを共有して進めていかないとハレーションが起こる。

○一人一言

- ・今までとは変えて開催しようとしているので、共有が重要。
- ・これまでの花火、遊 ing の思いも1日目に詰め込めれば良いと思う。
- ・今までと違った形で盛り上げられれば。
- ・いつまでに何を決めればよいか、スケジュールを立てたほうがよい。1日開催と2日開催の両方をシミュレーションしておいて決めればよい。(予算、人の動員)
- ・新しいやり方を生み出していければよいと思う。
- ・市民を巻き込んで伊那まつりを作っていければよいと思う。
- ・明るいうちから踊りをやることを検討した方がよいかもしい。
- ・市が関わらなくても2日間できればよいと思う。
- ・軸を決めて、そこに会議所が加わるのも方法だと思う。軸を決めて動き出すのが大事だと思う。まつりへの参加方法を考えたほうがよい。コロナ前までおどりの動員を主導してきた方も間が空いてしまったため困ってしまう。
- ・伊那まつりに携わるようになって、まつりへの意識が変わった。市民の半数は伊那まつりに興味がないと思う。ゆっくり裾野を広げていくことが市民総参加。知ってもらえる機会を広げたり、実際に関わる機会を増やすのが大事。
- ・市民に喜んでもらえるものを作っていければ良いと思う。
- ・祭りの骨組みを早い段階で決めたほうがよい。会議の目的を決めて進めたほうがよい。
- ・祭りが子供たちの楽しい思い出になれば引き継がれていくと思う。
- ・実行組織に加わってもらえるのも市民総参加になる。

(3) その他

- ・次回、核の部分を決めて、主な骨組みを作っていく。

4 その他

(1) 今後の日程について

令和4年12月2日(金) 午後6時から 伊那市生涯学習センター701 会議室

○取材対応

信濃毎日新聞、長野日報、いなアイネット、中日新聞